

新聞で学ぶ社会

新聞には、世界中で今、起きていることが書かれています。子どもたちの学習に関する内容も多く、社会とのつながりを感じることができ、情報の宝庫です。本特集では、新聞記者が語る新聞の魅力や新聞を読むことで身につく能力、さらに新聞を使った中学入試対策を紹介します。

取材・文／武田純子、関口直子、堀実希 写真／アーク・フォクス（清水亮） イラスト／ホリベタミコ

20XX年 〇月△日

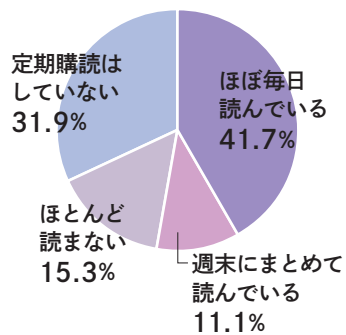
新聞

世の中の動きがわかる
新聞をめぐってみよう

中学受験を目指す小学生の保護者にアンケート
新聞、読んでいますか？

Q1

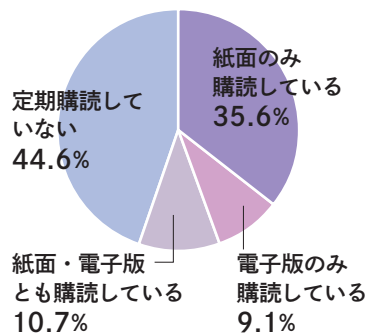
新聞を毎日
読んでいますか？



ほぼ毎日読む人が多数派。新聞を読むのが習慣になっているようです。

Q2

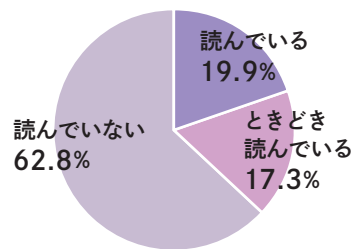
新聞(一般紙)を
定期購読していますか？



半数以上の方が紙面か電子版を定期購読しているという結果。紙面と電子版を使い分けている人もいます。

Q3

子どもは新聞
(小学生向け新聞を除く)を
読んでいますか？



40%近くの子どもの新聞を読んでいるという結果に。難しいのでは？と思っているのは大人の思い込みかも！



新聞は情報の宝庫
パラパラ読みから
スタートしよう

インターネット、テレビ、新聞など、メディアと呼ばれるものにはいろいろなものがありますが、皆さんが最も情報を得ているものは何でしょうか？
今回取り上げるのは「新聞」です。新聞という、大人が読むものと思っている人も少なくないでしょう。でも、実は新聞を読むことは学力の基礎を身につけるのに有効な手段。小学校の授業で新聞を活用する活動を行っている日本新聞協会の関口修司氏も「小学校の低学年でも一般の新聞を読むことができるし、読み続けることでさまざまな学力をつけることができる」と言います。
そこで本特集では、新聞を読むことで身につく力、学力向上との関係、新聞を使ったコミュニケーション方法について紹介します。
また、新聞記者にインタビューし、新聞に込めた思い、新聞の良さなどを語ってもらいました。
さらに、中学入試でも高頻度で出題される時事問題対策として、新聞を活用する方法についても解説します。
まずは親子で一緒に、新聞を広げてみませんか？

新聞はこうして できています！

さまざまな情報が掲載されている新聞。
実際には、どのようにつくられているのでしょうか？
新聞記者の方に密着し、工夫点や新聞の魅力などについて聞きました。



その記者ならではの魅力ある記事を書くためには、日々の丹念な取材が欠かせません。気になることは小さなことでも拾い上げて話を聞き、記事に盛り込みます。



お話を聞いたのは

読売新聞東京本社
運動部 記者
工藤 圭太氏

2008年入社。宇都宮支局で、警察、県政などを担当。社会部を経て、2014年9月より運動部に所属。プロ野球や東京五輪を担当し、現在は箱根駅伝やゴルフなどを取材している。

読売新聞東京本社
社会部 記者
坂場 香織氏

2012年入社。横浜支局で警察や行政、スポーツなどを担当後、2017年9月より社会部に所属。武蔵野支局などをを経て、2020年11月より厚生労働省(労働分野)を担当している。

取材では、
読者が何を知りたいのかを
意識して話を聞きます

新聞で
学ぶ社会



新聞記者は、情報があれば昼夜問わず取材に駆けつけます。朝、相手が仕事に向かうところを取材することも。判断力や、瞬発力、機動力を伴う「フットワークの軽さ」は記者に求められる大切な能力の一つです。

スペースに限りのある紙面に掲載する記事を、取材の成果を納得のいくように盛り込みながら形にしていくのはどんなケースでも悩むもの。書いては削りを繰り返し、記事を仕上げていきます。



何度も書いて、修正して、を繰り返し、納得のいく文章にしています



大会、競技会の取材は運動部記者の大切な仕事。競技終了後、会場の記者席でパソコンに向かい、その日の結果を記事にします。多いときは1日に4、5本の記事を書くことも。

相手からうまく話を引き出せるよう、下準備はしっかり行います



新聞記者の努力が詰まっている 新聞が手元に届くまで

今の世の中の動きがわかる新聞。一体どのようにつくられているのか、見てみましょう。

取材・原稿作成

新聞記者に必要なのはとにかく「フットワークの軽さ」と「判断力」です。記事の必要性を瞬時に見極め、決めたらすぐに動きます。そして、現場に直接足を運び、取材の対象者に話を聞き、記事に必要なさまざまなことを調べながら一つひとつ丁寧に書き上げていきます。

編集会議

編集会議は、国内外のさまざまなニュースを、新聞でどう扱うか、政治部、経済部、社会部、国際部、文化部、科学部、運動部などさまざまな部から“デスク”と呼ばれる責任者が一堂に集い話し合っている重要な会議です。

紙面レイアウト

紙面レイアウトは編成部の仕事です。各部のデスクから送られてきた記事に見出しをつけ、紙面のレイアウトを考えます。重要なニュースほど見出しを大きくして、紙面の中で目立つように配置します。

校閲

新聞紙面に載せるすべての記事の見出しや記事をチェックするのが校閲の仕事です。事実関係に間違いはないか、誤字脱字はないかなど、小さな誤りも見落とさないよう丁寧に確認していきます。

印刷・配達

編集局から送られてきた紙面のデータを印刷工場に送ります。輪転機という巨大な機械でロール状の紙に印刷する光景は壮観。刷られた新聞は、その後全国各地の販売店に配達され、配達員の手によって各家庭に配られます。

デジタルメディア

インターネットで配信する速報記事の更新などを行います。記事の更新は24時間体制、休みなしで行われ、新聞紙面では載せきれなかったインタビュー全文や動画など、インターネットならではの情報を掲載しています。

そんな二人が日々、取材活動を行い、記事を書く上で心がけていることは何でしょうか。

「常に生活者の目線に立ち、その事象が人の生活にどういった影響があるのかという視点を忘れないようにしています」(坂場氏)

「新聞は、伝えたい内容を自分で構成することができます。特にスポーツの場合、結果を正確に伝えることは当然ながら、競技のルール、その結果に至るまでの努力の過程などを記事に盛り込むことで映像媒体とはまた違った臨場感を表現できるんです。そのため取材活動には日々余念がありません」(工藤氏)

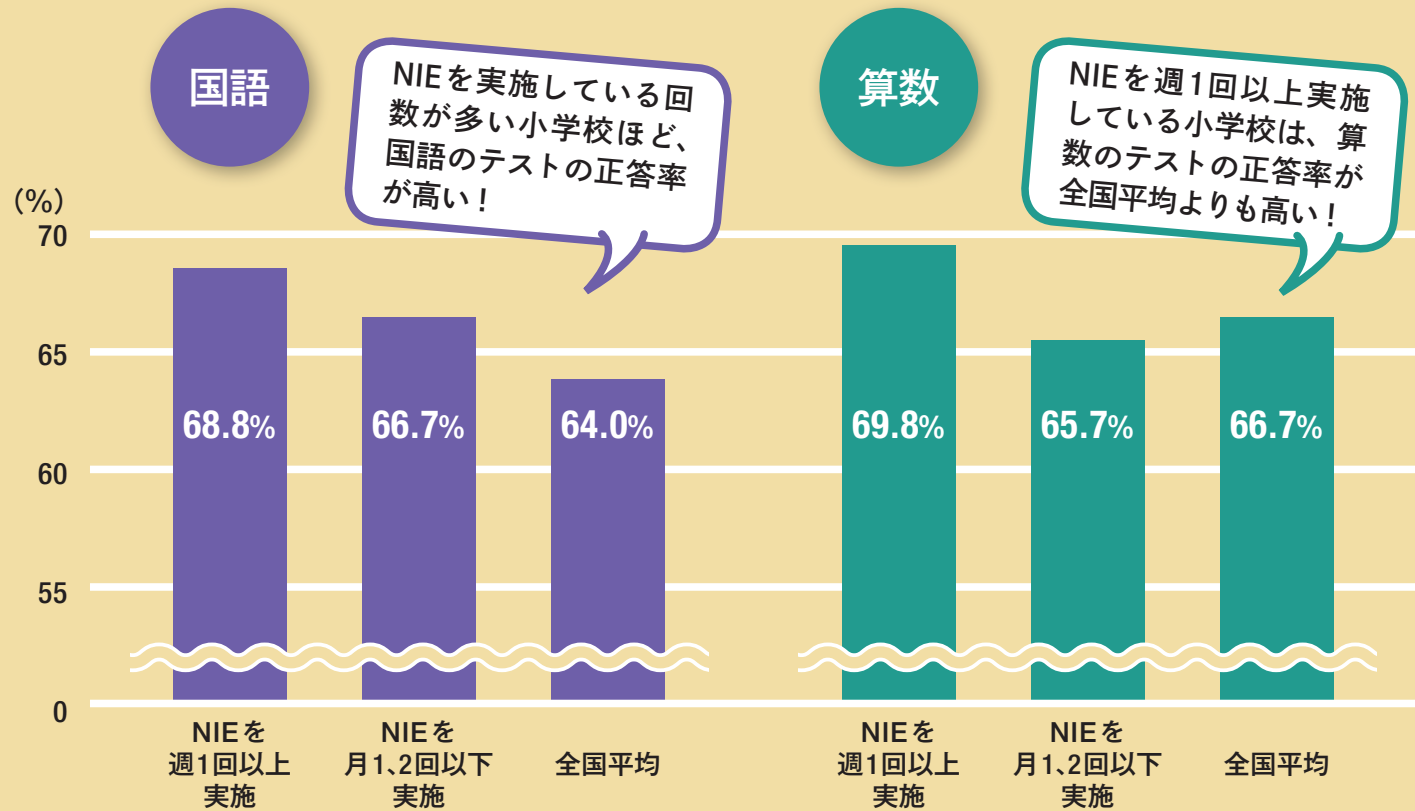
また新聞の魅力については、「その日、世界中で起きている自分の知らないことに出会えるきっかけになること」と二人は口を揃えます。

「新聞にはプロがつける見出しがあり、それを読むだけでも勉強になります。重要なニュースほど見出しが大きくるので、見出しを追うだけでもそうした価値判断力が磨けるのは新聞の大きな魅力だと思います」(工藤氏)

「新聞は見出しのすぐ横に本文があるので、見出しで興味を持った視線を移せばすぐ記事が目に入ります。まずは見出しを読むことから始めて、今更に興味があつたことに出会ってほしいですね」(坂場氏)

NIE実施校は正答率が平均より高い!

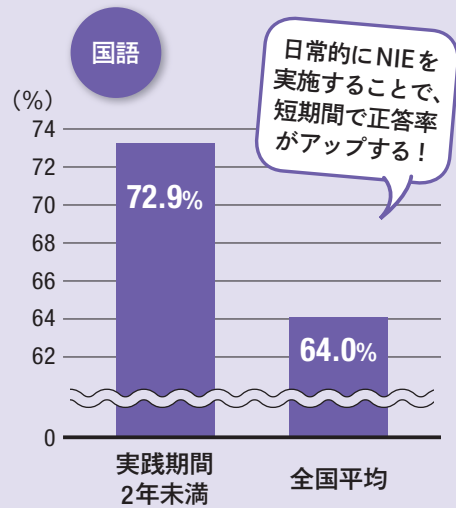
日本新聞協会が実施したアンケートからは、NIEを日常的に行っている小学校は全国学力テストの国語・算数の平均正答率が高いことがわかります。



【出典】日本新聞協会NIE委員会「NIEの学習効果を調べるアンケート」(2019年11~12月実施)

NIEは短期間で結果が出る!

NIEを日常的に行うことで、2年未満でも全国平均より高い正答率が得られることがわかります。



【出典】日本新聞協会NIE委員会「NIEの学習効果を調べるアンケート」(2019年11~12月実施)

新聞を読むと学力が上がる!? 新聞の120%活用術

新聞は学力の向上に関係あるのでしょうか?
新聞を読むことで身につく学力や効果的な読み方について解説します。



お話を聞いたのは



日本新聞協会
NIEコーディネーター

関口 修司氏

東京学芸大学卒業後、東京都の公立小学校教員として、社会科とNIE(エヌ・アイ・イー=Newspaper in Education/学校などで新聞を教材として活用する活動)の研究・実践活動に従事。小学校の校長を歴任後、現在は全国でNIEの普及活動に尽力。

新聞＝論理的文章に慣れ親しむことで学力がアップする!

近年、日本の子どもの読解力低下が問題視されています。その理由について関口修司氏は、「明治以降、日本の国語教育はずっと文学作品が中心だったことが一因です」と説明します。

「2018年に行われたOECD(経済協力開発機構)の国際学力調査では、日本は前回の8位から15位へと、読解力の分野で大きく順位を下げました。世界の視点で見ると、読解力とは、論理的文章を正しく読み解く力のこと。感性を育む文学作品を中心に勉強してきた日本の子どもの読解力が低いのは当然です」

その一方で、読解力低下は、子どもの活字離れが原因だと言われることもあります。しかし、日本

の子どもの読解力トップクラスのシンガポールや香港、上海などの子どもに比べても、実は圧倒的に本を読んでいるという統計が出ています。「ただ、日本の子どもは目立って物語などのフィクションを多く読んでいるため、論理的な読解力には結びつきにくいのです」と関口氏は分析します。

近年では文部科学省の方針で、学校の授業でも論理的な文章の読み取りに力を入れるようになってきました。しかし、まだまだ十分とは言えない状況です。

「読解力アップのためには、生活の中で、論理的な文章や実用的な文章に接する機会をつくるというでしょう。その代表的なものが新聞です。文部科学省の調査では、本を読んでいる子どもほど学力が高いことがわかっています。つまり、新聞を読んでいる子どもの方が、より学力との相関関係が高いのです」

新聞は原則5W1Hで構成されていて、文章が論理的です。大事なことは冒頭に書いてあるなど、文章の組み立て方を自然と身につけることができます。「日常的に読み続けることが論理的な思考力の養成につながるため、新聞を読んでいる子どもは、国語だけでなく算数の学力も高い傾向にあります」と関口氏。

「加えて今の学習では、グラフや写真などいろいろな資料やテキストをどれだけ関連づけて読み解くことができるかが重視されています。これはまさに新聞を読むことによって身につく力です」

新聞を通じた学習で入試問題を読み解く力も身につく

全国の多くの小・中学校では、新聞を授業に活用する「NIE」を取り入れて、学力向上などの成

果を上げています。

「NIEの代表的なものが、子どもが新聞を読んで自分の気になった記事や写真を切り抜き、紙やノートに貼ってコメントを書くワークです。週に1回、15分程度ですが、だいたい3か月続けると、子どもの文章力や語彙力、漢字のレベルが大きく向上します」

最初は記事のコメントに「すごい」「大きい」くらいしか書けなかった子どもも、先生が「なぜ?」「どのように?」と深掘りして聞いていくうちに、段々と文章がふくらんでいくそうです。

「NIEは、自宅でも取り組むことができます。その際、記事のコメントは、読み取れる情報(事実や要約)と、感じたこと(感想)

を分けて記すようにしましょう」

低学年は、記事がまだ難しいので、写真だけを見ます。「長い髪の毛の子」「日の光が当たっている」など、写真に何が写っているか(事実)を読み取って書き記し、次にどう思ったのかを書いていきます。正解や間違いなどは気にせず、子どもの視点を大事にして、親は「いいところに目をつけたね」など、ポジティブな声かけをするのがポイントです。

「3・4年生なら写真やグラフと見出しだけを読み、5・6年生なら記事全体を読みます。スポーツ記事しか読まない子どもや、記事の意図とは違うことを書く子どももいますが、その子なりの読み取り方を大事にしてあげま

でてこい、 未来のリーダーたち。

「夢」に向かって努力する
「努力の天才」になってほしい。

四谷大塚では創立以来、第一志望校合格を目標とした指導にとどまらず、将来、社会・世界で活躍する上で必要な「論理的に課題を解決する力」を身につけた人財を育てるための熱誠指導を行ってきました。

『独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する』、これが四谷大塚の教育理念です。この教育理念の実現に向けて、中学、高校、大学に進学、さらには社会に出ても伸びる力を育て、どんな未来でもたくましく生き抜く力を付けることが、四谷大塚に与えられた使命だと考えています。

私たちは、子どもたちの「夢」の実現を応援します。

選 抜 制 進 学 塾

「入塾テストの合格は2人に1人！」

入塾テスト 無料

四谷大塚の教育理念をお話します 入塾説明会 開催

スタートダッシュで差をつける！

春期講習2022

申込受付中！

6年生

合格力を正確に判定し、

合格力を飛躍的に伸ばす！

4/10 合不合格判定テスト

受験者数No.1! 申込受付中!

中 学 受 験

でてこい、未来のリーダーたち。

四谷大塚 



年少
~小6

世界で活躍する“未来のリーダー”のための

東進こども英語塾 123 SESAME STREET ENGLISH

無料体験レッスン受付中!

四谷大塚の校舎で
大好評レッスン中!

英語圏の
文化を知る自慢の
ネイティブ講師陣!

お申し込み、資料請求はホームページまたは校舎まで!

www.yotsuyaotsuka.com

- | | | | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|----------|--------------|
| ●中野校舎 | 03-3382-5111 | ●市ヶ谷校舎 | 03-5206-7291 | ●横浜校舎 | 045-287-4281 |
| ●お茶の水校舎 | 03-3253-2821 | ●豊洲校舎 | 03-3536-7361 | ●新横浜校舎 | 045-473-3620 |
| ●高田馬場校舎 | 03-3367-4121 | ●人形町校舎 | 03-5643-2831 | ●日吉校舎 | 045-594-8761 |
| ●巣鴨校舎 | 03-3945-4281 | ●勝どき校舎 | 03-6221-2341 | ●あざみ野校舎 | 045-905-5361 |
| ●渋谷校舎 | 03-5456-9011 | ●日暮里校舎 | 03-5615-1431 | ●センター南校舎 | 045-948-5671 |
| ●成城学園前校舎 | 03-5727-8161 | ●吉祥寺校舎 | 0422-70-3091 | ●新百合ヶ丘校舎 | 044-969-2291 |
| ●二子玉川校舎 | 03-5491-4381 | ●立川校舎 | 042-527-9411 | ●上大岡校舎 | 045-846-4341 |
| ●蒲田校舎 | 03-3736-5411 | ●町田校舎 | 042-723-3461 | ●大船校舎 | 0467-47-3411 |

●東進こども英語塾戸塚教室 045-869-3471 ●東進こども英語塾相模大野教室 042-767-3081

四谷大塚

検索

- | | |
|--------|--------------|
| ●津田沼校舎 | 047-472-6411 |
| ●新浦安校舎 | 047-390-5371 |
| ●柏校舎 | 04-7146-3511 |
| ●西船橋校舎 | 047-432-2301 |
| ●大宮校舎 | 048-658-8511 |
| ●南浦和校舎 | 048-882-4311 |
| ●所沢校舎 | 04-2996-5911 |

中学受験

6年生

合不合格判定テスト

受験者数

No.1!

※2021年実施の第1～6回合不合格判定テスト、
のべ受験者数89,350名(四谷大塚調べ)



合格力を**正確**に判定し、
合格力を**飛躍的**に伸ばす!

受験料：5,280円(税込)

第1回

4/10 

お申し込みは四谷大塚のホームページで。

第2回

7/10 

第3回

9/11 

第4回

10/9 

第5回

11/6 

第6回

12/11 

でてこい、未来のリーダーたち。

四谷大塚